

中濃農林事務所の普及活動状況 令和5年7月25日現在

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■JAめぐみの就農塾 第3回夏秋なすコース

7月4日、JAめぐみの実証圃場において、就農塾（夏秋なすコース）が開催され、収穫、切り戻し剪定作業について学習した。

JAめぐみの、農業普及課が講師となり、作業のコツや注意事項を説明し、研修生が実際に作業を行った。その後、独立袋栽培（3Sシステム）に取り組む関市のほ場を見学し、生産者から土耕栽培との違いなどを説明いただき、研修生からも活発に質問等が行われて知見を深めた。

農業普及課では、今後も就農塾支援を継続し、受講生のスムーズな就農を支援していく。
(地域支援係)



【作業内容の説明】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■農産物直売所 農薬研修会

7月11～13日に、道の駅美濃にわか茶屋の農産物直売所で研修会が開催され、出荷者149名が出席した。農業普及課が講師となり、農薬安全使用および農作業安全について説明した。

新型コロナウイルスの影響により、4年振りの対面での開催であったが、多くの生産者が出席し、農薬を取り扱う際の注意点および熱中症対策を始めとした農作業時の安全対策について確認した。

農業普及課では、農薬の安全使用を徹底することで、安心な農産物の提供を推進するとともに、生産者の農作業事故を減らすための指導を行っていく。
(地域支援係)



【研修会】

■水稲 栽培講習会

関市上白金地区において、7月6日に水稲青空教室が開催され、生産者約20名が出席した。

農業普及課からは、今後重要となる水管理や病虫害防除を中心に、高品質なコメ生産を目指した栽培について説明を行った。生産者からは、特に近年問題となっている雑草の防除方法などについて活発な質問があり、これからの水稲管理について熱心に情報収集を行っている様子うかがえた。

農業普及課では、引き続き病虫害や雑草防除等について情報提供を行い、生産者の水稲栽培を支援していく。
(地域支援係)



【栽培講習会】

■水稲（採種） 栽培研修会

7月7日、14日に、JAめぐみの水稲青空教室が開催され、農業普及課も出席した。

出穂4週間ほど前を目途に品種ごとに開催され、幼穂や葉色を確認し、穂肥の適正な時期および量を指導した。7日は「あきさかり」で幼穂が確認され、平年並みの出穂期が予想された。14日は「ほしじるし」「モチミノリ」で幼穂が確認され、平年より早い出穂期が予想された。

農業普及課では、水稲種子の収量・品質を確保するため、巡回指導や研修会を通じて、栽培指導を行っていく。
(地域支援係)



【青空教室】

■小麦 緑肥の試験栽培開始

関市内の農事組合法人では、小麦の収量・品質向上を目的とした緑肥の試験栽培が行われている。

この法人では、小麦連作ほ場の収量が伸び悩んでおり、有機物の施用を目的として、緑肥作物のセสบニアの栽培を約 20 a で試験的に開始した。播種作業は 7 月 7 日に行われ、順調に出芽した様子が確認されている。

農業普及課では、今後生育状況を確認しながら、緑肥作物のすき込み時期等の指導を行っていく。
(地域支援係)



【播種作業】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■さつまいも コガネムシフェロモントラップ調査

中濃管内では、新たな産地づくりの取り組みとして、平成30年度よりさつまいも栽培に取り組んでいる。単収向上の課題の中で、コガネムシ等の病害虫対策に取り組んでいる。

5月26日にコガネムシフェロモントラップをほ場に設置し、ヒメコガネ、マメコガネ、ドウガネブイブイの捕獲頭数を経時的に調査している。

7月5日の調査ではマメコガネが最も多く、7月20日の調査ではヒメコガネが最も多くなり、7月中旬頃にコガネムシの優占種が変化することが確認された。

農業普及課では、今後も調査を継続し、コガネムシの発消長を把握することで、効率的な防除方法を確立していく。
(地域支援係)



【フェロモントラップ】

■キウイフルーツ 通常総会・全体研修会

J Aめぐみのほらどキウイフルーツ生産部会では、7月20日に関市ほらどキウイプラザで第41回通常総会を開催した。

令和4年度は大きな気象災害がなく、適度な降雨があったため、近年にない豊作の年となり、出荷量と販売金額が大きく増加した。

総会終了後、農業普及課が講師となり全体研修会が行われた。他産地との差別化を図るために、グリーンな栽培体系への転換サポート事業を活用した有機質肥料施肥体系の実証について途中経過を報告した。

今後、栽培履歴やアンケートによる情報を基に、部会全体で取り組める内容をみんなで考え、無理をしない範囲で取り組むことを提案した。

また、新たな取り組みとして、栽培環境の確認や作業の効率化を促すためのGAPによるチェック、摘果したキウイフルーツを活用したピクルスの試作品の紹介なども行った。
(地域支援係)



【全体研修会】